

ハッ場ダム住民訴訟通信-104

2014年11月30日発行

ハッ場ダム、霞ヶ浦導水、思川開発反対 玉造順一(社民) 細谷典男(無所属) 江尻かな 鈴木聡 山中たい子 上野高志(各共産)

去る11月12日に実施した茨城県議選候補者アンケートは、上記の6候補より回答をいただきました。残る63候補からの回答はなく、ここにご報告いたします。

質問は以下のデータを列記し回答を求めました(詳細は通信103号)

■2012年度水道用水実績(単位:万トン/日 保有水源に湯西川ダム含む)

保有水源	1日最大給水量	給水人口	1人1日最大給水量	余剰水
169.8	98.9	273万人	3620	70.9

■2012年度県営工業用水道実績(単位:万トン/日)

保有水源	契約水量	1日最大配水量	契約余剰水	配水率	余剰水
149.5	109.1	70.1	39.0	64.2%	79.4

※都市用水(水道用水+工業用水)の余剰は約150万トン。295万人県民は688万人分もの水源を保有しています

■2020年度水道用水予測(ハッ場ダム・霞ヶ浦導水完成想定 単位:万トン/日)

保有水源	1日最大給水量	給水人口	1人1日最大給水量	余剰水
224.8	95.6	264万人	3620	129.2

※2020年度の285万人県民は840万人もの水源を抱え、単純計算で県民1人あたり3人分の水道料金を負担することになります

■現行マスタープランと実績から見た2020年水需要予測

計画年度	達成年度	人口予測	給水人口	普及率	水道1日最大給水量	1人1日最大給水量
2007年案	2020年	297万人	297万人	100%	133.8万トン	450.00
2020年予測	2020年	285万人	264万人	92.6%	95.6万トン	362.00

※昨年10月、橋本知事は現行の「いばらき水のマスタープラン」の改定はしないと言明しました。実績から見る2020年予測はご覧の通りです。「改定はしない」という不作為はすべて次世代に負荷をかけると言明したことに他なりません。

■契約水量と責任引取水比較(2010年度 単位万トン/日)

	鹿行	県南	県西	県中央	合計
契約水量	84,000	272,775	80,000	55,971	492,746
責任引取水	108,000	306,075	80,000	240,000	734,075
※思川開発			138,000		792,075
倍率	129%	112%	※173%	429%	149% ※161%

※どの地域も現状の過大な契約水量の上に、さらに膨大な水量を引取ることになります。ことに県中央は事業者によっては最低でも2倍、最大は7倍もの水量を引取ることになります

ご回答(○記しをお付け下さい)

1: 私たちは、ハッ場ダム、霞ヶ浦導水、思川開発は中止し、湯西川ダムは運用停止と考えますが、いかがですか。

○そう思う そう思わない その他 _____

2: これまで橋本知事は上記のような水行政を行い、県議会はそれを承認してきました。これ等の判断は妥当だと思いますか。

妥当だ ○妥当ではない その他 _____

※ご回答いただいた6人の候補者はすべて上記のように○印を付けられました。

無回答者(順不同)

高崎進 加藤明良 舘静馬 川津隆 佐藤光雄 井出義弘 長谷川修平 齋藤英彰 福地源一郎 菊池敏行 井沢勝徳 青山大人 八島功男 森田悦男 菅谷憲一郎 江田隆記 戸井田和之 桜井富夫 白田平八郎 萩原勇 飯塚秋男 神達岳志 石井邦一 西野一 志賀秀之 村上典男 常井洋治 川口政弥 山岡恒夫 星田弘司 飯岡英之 鈴木将 田村けい子 海野透 大谷明 藤島正孝 梶岡博樹 鈴木定幸 先崎光 宮崎勇 設楽詠美子 石塚仁太郎 細谷典幸 白田信夫 西條昌良 石田進 横山忠市 本澤徹 鈴木亮寛 島田幸三 田山東湖 荻津和良 下路健次郎 葉梨衛 半村登 大橋康則 岡田拓也 星田こうじ 田口しんいち 小川一成 とつか潔 二川英俊 竹原大蔵

アンケートを実施して。

県議選のアンケートは候補予定者を特定するのに大きな壁がある。何といっても人数が多い。今回は各政党や新聞社のHPなどをあたったが、11月12日現在ほぼ確認できなかった。ただ、現職は引き続き立候補するとの感触から、県議会HPから議員名簿をあたったが住所・電話番号の記載がない。公人のプライバシーを守ろうというのか不思議な県だ。やむなく以前の名簿(この時はあった)と照合し、新顔を個人のHPであたった。ここにも壁があった。住所の記載は後援会事務所が多く、本人への連絡はツイッターかフェイスブックに誘導されてしまう。これでは“いいね”としか言えない。言って欲しいのだろうか。ともかく現職の議員も候補者もプライバシーを守ろうとするのか、有権者の問い合わせが煩わしいのかガードが固すぎる。これがこの国の、茨城県の民主主義のレベルなのだろう。悲し過ぎる。

そんな訳で、アンケートが漏れたり、候補者でない人に送ってしまった可能性もある。慌ただしい中での実施であったがお詫びしたい。ことに立候補しなかったにも関わらず上記無回答者欄に記載してしまった方には重ねてお詫びしたい。

アンケートの回答は10%にも届かなかった。候補者にしてみれば「この多忙な折に…」という思いであろうことは痛いほど解る。しかし、回答された方々はアンケートの到着後、間をおかず回答された。感謝するに余りある。回答者すべてを支持したい。

ハッ場ダムをストップさせる茨城の会 代表:濱田篤信 船津寛 柏村忠志

事務局: 神原禮二 〒302-0023 取手市白山1-8-5 携帯: 090-4527-7768